

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン シモイナシャカイフクシカイ
法人名	社会福祉法人 下伊那社会福祉会
フリガナ	タカモリソウ
事業所名	高森荘
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
29.3 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別：☒ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) マキシスカイ440/イージートラックFSセット

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	198 件	2,376 件	2 分	158 人時間	40 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			198 件	2,376 件	2 分	158 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

＜※1＞B. ひと月当たり発生件数の算出方法

利用者 H・Y様を想定 業務従事者数1名/回
ひと月当たりの移乗回数
・6回/日×30.4日 = 182.4回 (起床、排泄、就寝における移乗支援数)・・・①
・4回/週×4週 = 16回 (入浴に関わる移乗支援)・・・②
合計:198.4回/月・・・(①+②)

＜※2＞D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

利用者の移乗支援に要する時間について計測を行った。(2分)

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E (A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	1 人	198 件	2,376 件	3.75 分	149 人時間	149 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			198 件	2,376 件	3.75 分	149 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

利用者 H・Y様を想定 業務従事者数1名/回 ひと月当たりの移乗回数 ・6回/日×30.4日 = 182.4回 (起床、排泄、就寝における移乗支援数)・・・① ・4回/週×4週 = 16回 (入浴に関わる移乗支援)・・・②
--

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

利用者の移乗支援に要する時間について計測を行った。(3分45秒)

年間業務時間数想定削減率(%)

6.3%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

・身体に直接触れる機会が減少したことで、利用者と支援者の双方にとって、身体的・精神的な負担の軽減が実感されるようになった。 ・リフトや各種介護機器・用具の導入により、支援や介護の手段が多様化し、利用者一人ひとりの状態や支援者の体格や技術に応じた柔軟な対応が可能となった。 ・リフトの導入により、使用の必要がない利用者からも「使ってみたい」との声が上がるなど、ロボット機器等への関心が高まっている。 ・走行型リフトに加え、居室内に常設された据置式リフトの活用により、必要なタイミングで即座に対応できる体制が整い、利用者を待たせる場面が減少した。
--

(5)今後の課題

・当施設の居室は十分なスペースを確保しづらく、リフト設置により、ダンスや床頭台など、日常生活に必要な物品の配置場所が制限されてしまう。 ・一部の居室では、構造上の制約によりリフトの設置が難しい。 ・現時点では、障害の重度化や高齢化の進行に伴いリフトの利用頻度は高いが、将来的に軽度の障害を持つ利用者が増加した場合には、稼働率が低下する可能性がある。
--

(6)気づき等について

・障害の状態や、理解力により、リフトの使用が難しい利用者もいる。 (例)脊髄小脳変性症による運動失調で、吊り上げ時に危険を感じたケースがあった。 ・リフトは身体的負担を軽減する反面、介助時間が延びる傾向がある。円滑な使用には介護技術や操作方法の習得、向上が求められる。 「体が楽になった」との声が利用者様から聞かれた。(これまで抱え上げの際に、利用者様・職員ともに体に力が入ってしまっていたが、リフトの使用によりそれが解消されたため。)

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

月2回実施している職員会議の場を活用し、現場職員から職場環境改善に関する提案を募り、情報共有を行っている。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

リフト導入に伴い居室や共用スペースのレイアウトを見直し、安全な動線を確保するなど、全体の作業環境の改善を行った。